

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY セロリ

2005
No.57



就職News

研究内容紹介

『児童相談所一時保護所における学習権保障の問題』

研究トピックス

『私たちのからだは修復可能か？』

「気配り」の法律; “個人情報保護法”の勧め

学生部長・教授 福浦 幾巳

かつてNHKのクイズ番組「面白ゼミナール」の司会として活躍された鈴木健二氏の「気配りのすすめ」の本を存じでしょうか。当時、ベストセラーとなった本ですが、「気配り」、「配慮」など疎遠であった若い私にとって、それは、知恵を授ける一つのバイブルでもありました。

時代は転じて、「恥の文化」から「罪の文化」への潮流においても、「個人情報保護法」の本は、特に、若い人達には是非一読していただきたいものです。それは、時代の潮流における物事の本質(知恵)を考える上での経緯のケーススタディとしては好著のものといえるからです。

ご周知のように、本年4月、同法が施行され、既に6カ月の期間が過ぎましたが、多くの人が、組織がこの法律の対応について、「アイデンティティ(主体性)」なく、右往左往しているようにみえます。それは、個人、組織の行動様式を180度変える程の影響をもたらすという間違った理解によるものでしょうが、それこ

そ猫も杓子も「個人情報保護法」を声高に叫んでいます。法律の条文は、僅か59条しかないにもかかわらず、何故、多くの人が、組織が右往左往しているのでしょうか。それは、最近の報道にみるように、振り込め詐欺、オレオレ詐欺のような新種の犯罪が大きくクローズアップされているからでしょうか。それとも訴訟社会への到来に対する危機管理による対処からでしょうか。

思うに、これらの様相は、ひとえに同法の意図する「ミッション(使命)」のきちんとした理解がなされていない点に原因があるように思われます。試みに、同法1条(目的)をみると、それは人間の営みや組織の運営において個人情報の利用をバランスよく取扱う旨をうたったものですが、どうもこれらに対する右往左往の様相は、コンピュータ社会を前提としたサービスの充実や利便性の向上に資する私的、社会的利益を追求する目的と個人のプライバシー保護の目的を併せ持つ法律の取扱いに苦慮

しているからだろうと思われます。

ちなみに、同法は、個人情報の取得時の本人への通知、公表義務、収集した個人情報の管理責任など、企業(正確には、個人情報取扱事業者)に多くの義務を課したのですが、換言すると、同法は偏りがちな個人と企業との関係において、個人情報を本人に開示なく勝手に利用するのではなく、ひと言断ることをルール(コンプライアンス;法令遵守)化したものです。その意味では、人間の営みや組織の運営における「気配り」、「配慮」を法律の言語をもって教えているにすぎないものといえます。なぜならば、とかく相反するような2つの目的を収斂するには、「気配り」、「配慮」という「知恵」でしかこれらは解決し得ないといえるからです。

最後に、「個人情報保護法」の施行を契機に、いま一度、人も組織も「気配り」、「配慮」という、知恵“の確認を再考したいものです。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY セロリ

2005
No.57

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第20回 「気配り」の法律; “個人情報保護法”の勧め	1
就職News	3
財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団寄付講座 『ホスピタリティ論』の開講について	6
中村学園大学開学40周年記念事業報告 キャンパスソング『努力の上に花が咲く』完成!	7
学内施設設備の改修工事について	8
研究内容紹介 『児童相談所一時保護所における学習権保障の問題』.....	9
研究トピックス『私たちのからだは修復可能か?』	10
平成17年度指導主任研修会	11
平成17年度教育ワークショップ 平成17年度後援会地区連絡会	11
平成17年度玉竜旗高校剣道大会	12
中村学園女子高等学校が初優勝! 平成17年度全国高等学校総合体育大会 中村学園三陽高等学校ヨット部 全国制覇!	
イベント&ニュース	13
免許法認定講習会/オープンキャンパス/公開講座/中村学園教職員OB会総会/ アジア栄養科学ワークショップ/サークル紹介/表彰のお知らせ/ 研究助成・受託研究等採択状況/教員の出版物/ 『地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム』のお知らせ/ 大学収容定員変更/教職員の動き	

【今月の表紙】 中央本館・正面玄関



中村学園大学は2003(平成15)年4月1日付で、財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているものと認められ、正会員として認定されました。

就職News

Try! Try! Try!

景気や雇用状況は少しずつ改善されてきたと報じられています。しかしながら1年間の雇用期間や派遣予定などの条件が付された求人が増加しており、また進路が定まらない早い時期からの就職活動を余儀なくされ、厳選採用が浸透するなど、学生の就職戦線はまだまだ厳しい環境と言わざるを得ません。なかなか内定をもらえず不安を胸にスーツ姿で活動している学生が現時点でも多数います。自立しようとしている学生のために、就職課は力の限りサポートしています。新たな取り組みについてご紹介しましょう。

全国就職ベスト11大学

～進路指導教員が絶賛評価～

全国の大学の中から本学を含めた11大学が「キ拉里と光る大学」として紹介されています。

今年6月に文藝春秋より出版されました『親子の大学受験ガイド』（単行本）に本学の就職支援について取り上げられています。―本分より抜粋―
「河合塾が高等学校の進路担当の先生方に行なったアンケート「就職指導が充実している大学」では、九州の中でこの大学（本学）がダントツで、実際に2005年3月卒業生の就職決定率は98.0%（就職希望者に対する割合）。しかも特筆すべきなのは、それぞれの専攻で学んだ内容が活かせる業界への就職決定者の割合が大変高いということ。『就職に強い中村』『専門を活かす就職なら中村』などと言われています。」



就職活動旅費支援制度開始について

本年度6月から、遠隔地への就職活動における経済的負担を軽減し、就職活動が行ない易い環境を整える為、就職活動旅費支援制度が開始となりました。主な支援内容は次のとおりです。

（主な支援内容）

- ① 1学生につき、在学中1回を限度として就職活動に伴う旅費交通費の支給を行なう。
- ② 支給額については、25,000円を限度として実費を支給する。
- ③ 対象地区は、大阪府以东とする。

（予算の範囲内で実施）

個人面談をアポイント制にしています

就職課では学生一人ひとりととの面談を何よりも優先して、学生の考えをよく聞き適切なアドバイスを行なうよう心掛けています。個別支援をより充実させる為に、希望者を対象に、応募先へ履歴書やエントリーシートを提出する前に就職課担当者で添削指導を行ったり、また面接試験を受ける前に就職課担当者が面接官になり模擬面接をしています。これらすべてをアポイント（事前予約）制にしており、学生と就職課担当者の双方が時間管理をし、効果を高めるようにしています。

Nーキャンパスを使いこなそう

NーCampusでは学生が自分の携帯電話やパソコンからリアルタイムに様々な情報を見ることが出来ます。「就職課情報」には、学内就職説明会・求人情報・企業説明会・お知らせ等の情報提供項目があります。特に求人情報は毎日更新していますので、気になる求人をチェックし、就職課で詳細を確認しましょう。

(求人情報掲載例)

【年 度】	2005
【求人NO】	000225
【求人区分】	企業系
【求人先名】	〇〇〇株式会社
【採用区分大学】	有
【採用区分短大】	無
【職 種】	事務
【勤務地区】	福岡県福岡市中央区
【応募区分】	自由応募
【締 切 日】	2005年10月31日

実践保育技術セミナーを開催

幼保系就職セミナーの中で、希望者を対象に「実践保育技術セミナー」を5月2日(木)と6月2日(木)の2回に分けて開催しました。特に今回は、就職後に現場で役に立つものをということで、学外講師にお願いして「チャイルドマインダー養成

講座」の中から「遊びの研究」と「コミュニケーション」をテーマに開講しました。「遊びの研究」では子どもが遊ぶ意味とは？とか指導法などを、また「コミュニケーション」では保育現場で求められる保護者

とのコミュニケーションとは？について勉強しました。どちらの回も出席者からは「楽しく受講できた」「保育現場では非実践したい」など好評でした。



保育士試験直前対策講座を開講

福岡県保育所連盟主催で実施されていた「保育士試験準備講座」が、平成15年度から中止になっていましたが、本学学生の保育士試験受験対策のために本学学内で「保育士試験直前対策講座」(6月20日(月)～7月8日(金)：全12回)を開催しました。受講生も、人間発達学科児童発達専攻をはじめ、短大食物栄養科、大学院栄養科学専攻などいろいろな学科の学生が受講し、この試験の関心の高さを再認識いたしました。また、受講生か

らは「授業内容がわかりやすかった」「講師が親身になって相談に乗ってくれた」「次年度も是非開講して欲しい」など好評でした。

エアライン業界・ホテル業界 試験対策講座を開講

航空業界やホテル業界への就職希望者を対象に今年から開講しています。航空業界やホテル業界の基礎知識を学び、客室乗務員、グランドホステス、ホテルスタッフの仕事内容から勤務する上での常識を習得します。今年は年2回(春季コース、秋季コース)開講を計画しており、すでに春季コース(5月13日(金)～6月24日(金))を受講した学生の中から、希望した難関のエアライン企業



から内定を頂いた学生もいました。講師は客室乗務員を経験された方で、受講生からは大変わかりやすく充実していたとの声が多く、秋季コースも期待できるようです。

学内で採用説明会を開催



本学では、学生の就職支援の一貫として学内に採用担当者をお招きし、採用説明会を行っております。企業・病院・幼稚園・保育園など様々な業種の採用説明会を行っておりますので、求人予定の採用担当者の方は是非ご連絡下さい。

就職課直通電話092-851-2576

就職支援ホームページをリニューアル

平成15年に就職支援ホームページ「ジョブハンティングサイト」を立ち上げました。「ジョブハンティングサイト」は、本学の学生と採用担当者を

結ぶ就職関連専用サイトとし、就職実績・先輩からのアドバイス・就職活動についての注意事項など様々な情報が掲載されています。現在、ご父母・卒業生へも情報発信をするページを作成すると同時に、更に内容を充実させる為にリニューアル中です。ご期待下さい。

<http://www.nakamura-u.ac.jp/~shushoku/>

後援会地区連絡会における就職に関する説明内容を充実

昨年度まで2月～3月にかけて開催されていきました「後援会地区連絡会」が、本年度は9月に行なわれました。従来、全体会の中で説明しておりました就職関係の説明を、今回は全体会に先立ち「就職に関する説明会」として開催しました。

内容としては、①前年度の就職状況報告 ②今年度の就職状況報告 ③本学の就職支援について、をメインテーマに説明いたしました。

また、昨今社会問題化しております「フリーター」「ニート」や、「親の就職支援とは」などご父母の関心が高い内容なども盛り込んで、大変充実した会となりました。

卒業生への求人斡旋について

就職課では、卒業生の就職相談対応や就職斡旋

を行なっています。就職斡旋は、無職の方または勤務先に退職の意思表示をされた方を対象にして面談の上、履歴書をお預かりして紹介するようになっています。毎年多くの方が新しい職場で活躍しています。また、その他職場での悩み相談についても受け付けていますので、お気軽にご利用下さい。なお在学生同様、アポイント(事前予約)制にしていますので、まずは就職課へお電話下さい。就職課への登録と同時にハローワーク等の利用もお勧めします。

就職活動のアドバイス

「失礼します」「おはようございます」「すみませんでした」「ありがとうございます」「よろしく願います」学生からこのような言葉をかけられると、感じの良い学生だなあ“と、ほのぼのとした気分になります。どんなに高度の知識や技術を持っていても、やる気が感じられなかったり、何気ない挨拶や社会人マナーが身に付いていない人を採用するところがあるでしょうか？

一緒に仕事をしてみたいと評価はしないでしょう。これからの様々な激変の時代を担うのは間違いないく、明るく・元気な・可能性を秘めた若者(学生)です。前途のある学生には、高等教育の修得は勿論、是非、やる気と社会人マナーを身に付け、卒業後に活躍することを期待します。

財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団寄付講座

「ホスピタリティ論」の開講について

流通科学部長 西岡 弘晃

本学流通科学部では、平成15年度に初めて、財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団による寄付講座「ホスピタリティ論」を開講し、これまで、ロイヤル(株)代表取締役社長 今井教文氏(株)エコ研究所特別顧問 神近義邦氏、ブランド・ハイアット・福岡(株)代表取締役社長 藤木辰正氏、UCC上島珈琲(株)代表取締役社長 上島達司氏、ハウステンボス株式会社ホテル本部総料理長 上柿元勝氏などに講師を務めていただきました。

今年度は新たに、次の方々に講師を務めていただきます。

・虎屋第十七代当主 (株)虎屋
代表取締役社長 黒川光博氏

・日本コカ・コーラ(株)

代表取締役社長 魚谷雅彦氏

・(株)オリエンタルランド

取締役執行役員フード本部長 鈴木康史氏

(ティーズニールランドの運営)

・財団法人ヤマト福祉財団

常務理事 伊野武幸氏

(心身に障害のある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的にヤマト運輸が設立)

流通科学部は、流通のヒューマン・インターフェースの教育に重点を置いています。顧客や消費者に対するホスピタリティを経営理念に採り入れた経営の理論とその実践方法を学ばせることで、流通をより深く幅広く理解し実践できる専門職を育成することをその目標としています。

『ホスピタリティ論』の開講に当たっては、ホス

ピタリティの理論とその実践についての先進的教育を行うために、この分野の実践についてフロンティアであり優れた実績を残されている外食産業大手のロイヤル(株)及び同社創業者の故江頭匡一氏が創立された財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団にご寄付を頂くとともに本講座の授業計画とその運用に多大なご協力を頂くことが出来ました。

また、本講座の授業計画は、日本においてホスピタリティの研究・実践の第一人者である力石寛夫氏(トーマスアンドチカライシ株式会社代表取締役)が中心となつて策定され講師陣の編成もしていただきました。

ホスピタリティ論の講義概要は次のとおりです。

1 教育目標

流通科学の知識を社会に生かすために必要な、企業経営の基本思想を学ぶことにしています。「思いやり」「やさしさ」「もてなし」などの日本語で表される「ホスピタリティ」は、顕著に具現化している場面としてレストラン・ホテル・航空機の接客などが思い浮かべられます。流通を科学する者が、フェイストウフェイスの基本とされるこの「ホスピタリティ」を学ぶ理由は、今この概念があらゆる産業分野において企業経営の基本として重視されているからです。幅広い企業経営の根幹を形成しているこの「ホスピタリティ」の理解なくしては企業活動における流通を正しく把握することとは出来ません。そこで、ホスピタリティの本質

を十分理解し、実践的で充実したアプローチの能力を修得することを目標にしています。

2 授業内容

外部講師のオムニバス方式による、実学を目指した授業内容となっています。『ホスピタリティ』の本質を理解する為の講義に加え、ケーススタディとしてホスピタリティ産業といわれる分野はもちろん、企業経営に「ホスピタリティ」を実践している各産業界の企業のトップを講師として迎えています。講義は力石氏の概論に続いて、産業別のホスピタリティ経営は外食・ホテル・医療・航空等、多彩なケーススタディでそれぞれ企業トップによる講義とし、ホスピタリティの本質の理解とその実践を学ぶことになっています。

3 外部講師

講義タイトル	講師(役職・氏名)
ホスピタリティ概論	トーマスアンドチカライシ株式会社 代表取締役 力石 寛夫 氏
ホスピタリティ原論	ロイヤル株式会社 代表取締役社長 今井 教文 氏
産業別ホスピタリティ経営論 外食産業編1	ロイヤル株式会社 取締役エアーケイタリング部長 富永 眞里 氏
産業別ホスピタリティ経営論 外食産業編2	ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー 日本支社 支社長 高野 登 氏
産業別ホスピタリティ経営論 ホテル産業編	財団法人ヤマト福祉財団 常務理事 伊野 武幸 氏
産業別ホスピタリティ経営論 レジャー産業編	株式会社オリエンタルランド 取締役執行役員フード本部長 鈴木 康史 氏
産業別ホスピタリティ経営論 医療産業編	青梅慶友病院 理事長 大塚 宣夫 氏
産業別ホスピタリティ経営論 製造・小売販売業編	株式会社虎屋 虎屋17代当主 代表取締役社長 黒川 光博 氏
産業別ホスピタリティ経営論 運輸航空産業編	元日本航空株式会社 CS推進部専任部長 高橋 弘明 氏
産業別ホスピタリティ経営論 製造流通産業編	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 魚谷 雅彦 氏
ホスピタリティ論まとめ	トーマスアンドチカライシ株式会社 代表取締役 力石 寛夫 氏

大学開学40周年記念事業報告

キャンパスソング『努力の上に花が咲く』完成!

前号の本誌でお知らせしたとおり、今年、中村学園大学は開学40周年を迎え、これを記念して「大学の歌の制定」、「記念講演会の開催」及び「キャンパスグッズの作製」の事業を実施することになっています。

このたび、記念事業の一つである大学の歌ーキャンパスソング『努力の上に花が咲く』が完成しました。作詞・作曲は、世界的な作詞・作曲家・音楽プロデューサーである小田裕一郎氏で、演奏・歌もご本人が担当されています。

なお、完成したキャンパスソングを本学学生、教職員へお披露目する小田氏による演奏会が、11月2日(水)午後1時から、本学体育館で開催されます。



中村学園大学キャンパスソング

『努力の上に花が咲く』

作詞／作曲／編曲／演奏／歌 小田裕一郎
バックコーラス:Yuko Darjeeling

春になれば 想い出す あの頃の君を
つらい坂道登り 花園育てた

秋になれば 枯葉の数ほど明日を学べ
楽しい時間はすぐに 過ぎ去ってゆくけど

明日への虹へ 手を取り合い進めば
心の音が鳴り響く Sound of Silence

今日の出来事を 噛みしめてゆこう
心の炎燃え上がる Feeling Your Passion

夏が来れば 太陽と遊び 光をつかめ
重いシューズ脱ぎ捨て裸足の心で

冬が来れば 想い出す あの人のことを
積もる雪は 初恋のように溶けてしまう

きっと未来は 僕たちを待ってる
風に乗り 夢へ飛び Fly Away

Yesterday Today Tomorrow 回り回る
季節の中で 美しい日々飾ろう

*Ah 限りなく続く 青いスカイライン
Ah 青春の光と影 N-M-G-U!
努力の上に花が咲く

*Repeat

小田裕一郎プロフィール

鹿児島生まれ。幼少の頃からギターを弾きはじめ14才でプロデビュー。ロック、ブルース、ジャズ、からクラシックまでマスターする。松田聖子を世に送り出すと共に、サーカス、杏里、田原俊彦、山本リンダ、桜田淳子、石川秀美、尾崎紀世彦、デュークエイセス、ローズマリー バトラーなど様々なアーティストに曲を提供。アニメーション、映画音楽、CMソングを含め約800曲を世に送り出している。サーカスに提供した「アメリカンフィーリング」は、坂本龍一をアレンジャーに起用、現在、中学／高校の教科書に記載されている。松田聖子の歌う「青い珊瑚礁」は春の全国高校野球大会入場行進曲として2度起用された。長野オリンピックの公式ソングの詞曲／歌を担当。またアーティストとしてもアメリカ、ヨーロッパを中心に演奏活動を行っている。ニューヨーク在住。

【代表曲】:「青い珊瑚礁」「裸足の季節」「Cat's Eye」「恋=Do!」「アメリカンフィーリング」「汚れた英雄」(角川映画主題歌)
「ひとつの地球にひとつの心」(長野オリンピック公式ソング)他

学内施設設備の改修工事について（管財課）

今年度、年次計画により教育環境整備を目的に学内施設の改修を行いました。

春休みには、人間発達学部・幼児保育科の念願であったピアノ練習室（55室）に冷暖房設備を設置（写真①）また、年次計画で整備している視聴覚設備を東1号館304教室・404教室に設置すると共に西1号館10階大講義室AV機器老朽化のため取替を行ない一層の教育効果を図りました。（写真②）

夏休みには、体育館1階のトイレを改装し、清潔で使い易くしました。（写真③）また、学内各所に無線LAN設備を設置し、学生の利便性を図りました。築後38年経過の正面玄関を自動扉付の広々とした玄関に改装いたしました。（写真④）

予ねてから要望があったグラウンド拡張が、あさひ幼稚園の跡地にテニスコート4面（クレイコート2面・オムにコート2面、夜間照明付）を配した拡張整備工事が、10月末竣工を目指して進められています。新校舎建設のため、現在の西3号館を解体します。その代替校舎として西6号館（鉄筋コンクリート造2階建）建設を平成18年3月完成目指して、10月初旬着工いたします。（完成予想図）



ピアノ練習室（写真①）



大講義室（写真②）



体育館トイレ（写真③）



正面玄関（写真④）



西6号館（完成予想図）

児童相談所一時保護所における 学習権保障の問題

短期大学部 幼児保育科 講師 圓入 智仁

都道府県や政令指定都市に設置されている児童相談所の存在は、昨今の児童虐待などに関する報道により、皆さんご存じのことと思います。児童相談所は全国に208カ所ありますが、その約半数、108カ所に一時保護所が付置されています。一時保護所には、被虐待、保護者の就労・失踪・離婚・入院、障害、非行、健全育成といった理由や背景のある、おおむね2歳から17歳までの児童が、保護者から離れて生活しています。

厚生労働省によりますと、2003(平成15)年度中、全国の児童相談所一時保護所に入所した児童は、18,322人でした(乳児など外部への一時保護委託児童を除く)。このうち、6～11歳が6,404人、12～14歳が5,110人でした。一時保護された期間は、保護理由や児童を取り巻く環境によって、2日から半年以上と大きく異なりますが、平均で約20日間です。

これらの児童について、一時保護所から在籍校、あるいは近隣の学校へ通学することは想定されていません。虐待者による連れ去り、非行少年の逃亡、登下校中の安全確保などが理由です。その代わり、一時保護所の日課として「学習」の時間が設けられています。多くの一時保護所では、職員(行政職員や保育士など)の指導により、児童の学力に合わせて、国語や算数(数学)などの問題プリントに取り組んでいます。

ここで浮かび上がるのが、一時保護所における「教育を受ける権利」の保障問題です。一時保護所に入所している児童の通学実績は全国的にほとんどなく、一時保護所に学校の分校や分教室が設置されている例も皆無です。この状況に対し、小・中学校の教員が一時保護所の職員として勤務している所があります。入所児童の日々の生活を指導するとともに、各学校との連携や教材作り、学習指導を中心的に担うのです。

さらに、一時保護所では誰が「教育を受けさせる義務」を負うのかという問題も存在します。児

童福祉法第四八条は児童福祉施設に入所している児童の就学義務を施設長に課していますが、児童相談所一時保護所は該当しません。一時保護所長に就学義務は課されていないのです。もう一方の当事者である児童の保護者には、学校教育法によって本来的な就学義務が課されていますが、児童が家庭から離れているため、その義務を果たせる環境にありません。つまり、児童相談所一時保護所に入所している児童の就学問題は、法律上、宙に浮いているのです。

もちろん、「教育」を学校教育に限定した場合、果たして一時保護児童に学校教育が必要か?という議論は成立します。権利論からすればYesですが、虐待を受けた、非行をしたなど、児童の様子次第ではNoとなるかもしれません。ここで重要なのは、「学習」の時間における教育—学習活動以外の側面です。ある一時保護所の職員によると、集中して問題に取り組む姿勢、問題を解いて得られる喜び、教え—教えられる関係を通した人間関係の構築など、児童は教科教育を超えた経験をしているといえます。

これらの現状認識に基づいて、一時保護所における「教育」の位置づけやその保障方法、それぞれの児童に適した教育プログラムの作成について、研究を進めているところです。



■プロフィール

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科一貫制博士課程修士号取得中退。大阪市中央児童相談所児童福祉司、九州大学大学院人間環境学府博士後期課程を経て、本年度より現職。修士(地域研究)。専門は児童福祉、社会教育、タイ研究。「児童虐待」の理解、教育と福祉の関係、昭和初期の学校外教育、タイの市民性教育について研究している。

私たちのからだは修復可能か？

大学院 栄養科学研究科 教授 藤田 守

最近の生命科学の進歩には目覚ましいものがあり、医学のみならず、人間の価値観、社会観、宗教観などにも影響を及ぼすようになってきました。特に、遺伝科学と再生医療の分野がインパクトを与えているようです。

私たちのからだは約60兆個の細胞によって構成され、それらが集まって組織をつくり、組織が集まって胃や肝臓のような器官をつくっています。一連の機能を営む器官の集まりによって消化器系や循環器系のような系統(器官系)をつくり、系統はほかの系統と協調して健全なからだを維持しています。

1990年代後半、世界初のクローン哺乳動物、ドリーが誕生し、その直後、ヒト胚性幹細胞(ES細胞)の分化誘導に成功しました。ミレニアムの幕明けとともに、ヒトゲノム解読も完了しました。それらの結果、人々は病気やけがで傷ついた組織を元通りに修復する再生医療に大きな期待を抱くようになりました。そのカギを握るのが幹細胞(stem cell)だといわれています。Scientific Americanとフィナンシャルタイムズ紙が共同で、幹細胞の研究に関する最新情報や未来の医療の姿、さらにそれらの問題点などを含め、詳しく報告しています。

話題の中心となっている幹細胞とはどのような細胞でしょうか？幹細胞は、種々の細胞に発達する能力を備え、私たちのからだの修復にも関係しています。理論上は無限に分裂を繰り返し、出来た細胞はそのまま幹細胞として存続する(自己複製能)か、筋肉、血液、脳などを形成する特殊化した細胞へと変化(分化能)していきます。幹細胞は、胚性幹細胞と成体幹細胞に分けられます。胚性幹細胞は「母なる細胞」と呼ばれ、からだのあらゆる種類の細胞を形成することが出来る「全能性」という能力を持っています。胚性幹細胞をつくるには、不妊治療のために体外受精を望んだカップルから提供された、廃棄されることになった胚を使用します。受精後1週間の胚から細胞を取り出し、実験室で栄養分と成長因子を加えて培養を行います。胚性幹細胞は世界でも150株に満たず、細胞株を樹立するのが極めて困難なようです。しかし、いったん確立すると、幹細胞は基本的には死滅しません。この胚性幹細胞の研究に対しては、倫理・宗教上の反発があります。そこで、もう一方の成体幹細胞を利用すれば、倫理的問題を

回避することができると考えられています。成体幹細胞は特定の組織や臓器に見られる何種類かの細胞のいずれにもなり得る柔軟性があり、「多能性」という能力を持っています。脳、眼、皮膚、筋肉、歯髄、血管、消化管などの組織で成体幹細胞と見られる細胞が発見されています。

幹細胞を病気の治療に使うのは、まだ先のことのように考えられていますが、実は一般化している骨髄移植も幹細胞を使った治療の1つです。骨髄移植は血液・免疫細胞を生成する能力の修復に大きな成果を上げてきました。これから広く実用化しそうな分野は心臓修復ともいわれています。また昨年末、女兒の頭蓋の大きな傷を骨移植と脂肪組織の成体幹細胞を用いて修復したという報告もあります。脂肪組織の成体幹細胞を用いて、乳房再建材として、臨床試験も行われています。皮膚と毛髪の成体幹細胞も発見され、美容目的への利用も検討されています。歯の周辺(歯髄)で見つかった成体幹細胞からエナメル質や歯冠を再生できないかと研究が進められています。

組織修復がもっとも必要とされるのは高齢者ですが、高齢者自身の成体幹細胞はあまり役に立ちそうにありません。新鮮な治療用成体幹細胞の供給源は流産または中絶した胎児から提供された組織です。非常に若いので、その成体幹細胞を移植すれば新しい環境に適合して、新しい細胞を活発に作り出すことが出来ると大いに期待されています。これらの修復技術の完成が約20年後で、さらに幹細胞を用いて、自己の臓器が創られ、自己臓器移植が可能になるのは約50年後と予測する学者もいます。専門家によりますと、その実現はもっと早くなるかもしれないそうです。

幹細胞の研究は、最終的に計り知れないほどの恩恵を私たちに与えてくれると思われますが、同時に倫理的問題、医療格差、法規制なども解決しなければならないでしょう。



■プロフィール

1947年佐賀県唐津市生まれ。九州大学で医学博士取得。香川医科大学助教授。文部省在外研究員として米国、ハーバード大学医学部へ派遣さる、同研究員、ハーバード大学医学部客員准教授。1991年より中村学園大学・大学院教授。専門、解剖学、栄養形態学、電子顕微鏡を用いた超微形態学。研究テーマ、消化と吸収に関する超微形態学的研究、食物アレルギーに関する超微形態学的研究。

平成17年度指導主任研修会

9月12日、本学の指導主任研修会が開催された。本年度のテーマ「個人情報保護法と学生指導」について、4人の先生方に以下の報告をいただき、パネルディスカッション及び全体討議に移った。フロアーからも「学生の処置について名前を出さないなど過敏になりすぎではないか」等の活発な意見が出された。また、研修会の最初に中村量一理事長から、「入学から卒業まで一貫して支援していくシステム」について特別講話をいただいた。参加者から、「いずれも現在の社会情勢を反映した内容で興味をもてた」という言葉があった。

講話「学生満足度アップのためのエンロールメント・マネジメント」

- 1 「個人情報保護法の概論」
- 2 「コンピュータシステムの観点から見た個人情報保護法の問題点」
- 3 「学生相談における学内連携と守秘義務」
- 4 「個人情報保護法と事務局の対応」

理事長 中村量一
流通科学部教授 福浦幾巳
流通科学部教授 財部忠夫
幼児保育科助教授 山崎 篤
教務課係長 赤司博文
(文責 流通科学部 講師 藤川祐輔)

平成17年度教育ワークショップ

9月12日、本学の教職員を対象とした教育ワークショップが開催された。メインテーマは『新ファカルティ・ディベロップメントへの取組み』。最初に藤本学長から「挨拶」として、自己の体験を含めた授業改善に対する提言があり、続いて各学科・科からの報告が続いた。短期大学部各科は入学から卒業までの取組みに関する報告で、食物栄養科城田教授は「実戦力のある栄養士養成の取組みについて」と題して、実力ある栄養士に中心を置き、幼児保育科那須助教授は「幼児保育科コアカリキュラムの進展」と題して、実習とゼミを中心とした科の取組み、家政経済科酒見教授からは「家政経済科を活性化する」と題して、科名変更をも含めた家政経済科の戦略についての報告があった。栄養科学部坂田教授からは「高度専門職としての管理栄養士をめざして」として、自己の授業体験からの切実な悩みが語られ、人間発達学部古相は児童発達学専攻定員増にともなうカリキュラム改訂の概要、流通科学部吉岡教授からは「VMD(ヴィジュアル・マーチャンダイジング)/ショールディング実践の試み」と題して、学生参加型授業の報告があった。

全般の反省としては、FDの定義、研究に対する組織的支援(広義)から始まり、授業改善(狭義)を表わすようになったということを再確認すべきだったようである。

(文責 人間発達学部 教授 古相正美)

平成17年度後援会地区連絡会

平成17年度の後援会地区連絡会が9月17日の本学(福岡)会場を皮切りに、北九州、佐賀、長崎(佐世保)、熊本、大分、宮崎、鹿児島県の計8会場で開催されました。

この連絡会は、本学の教育研究に関する近況報告とともに、在学生の履修面・生活面・就職状況に関する全般的な報告と説明、及び教員による個別面談等を中心とした内容になっております。従来は2月下旬から3月上旬に行っておりましたが、今年度より開催時期を変更し9月に実施いたしました。この連絡会をとおして大学と



学生及びご父母のコミュニケーションを図るとともに、この会で頂戴いたしましたご意見等を今後の教育研究に反映したいと思っております。

なお、各地区の参加者については、右のとおりです。

開催地区	参加者数
福岡(本学)	198名
北九州	37名
佐賀	46名
長崎(佐世保)	20名
熊本	46名
大分	49名
宮崎	41名
鹿児島	23名
計	460名

平成17年度玉竜旗高校剣道大会 中村学園女子高等学校が初優勝！

平成17年度玉竜旗高校剣道大会（主催：九州剣道連盟、西日本新聞社、出場381校）において、本学の併設校である中村学園女子高等学校剣道部が初優勝を飾った。大会の女子最終日は、7月26日、マリンメッセ福岡（福岡市博多区）で決勝戦が行われ、中村学園女子高校はノーシードながら初めてベスト4に進出。準決勝では全国選抜大会準優勝の中京高校（岐阜）を、大将の3年生堂尾裕美さんが延長5回の大熱戦の末下した。さらに決勝でも、同じくノーシードから勝ち上がった桐蔭学園高校（大阪）との大将戦となり、堂尾さんが相手大将にメンを2本決めて、栄冠をつかんだ。



平成17年度全国高等学校総合体育大会 中村学園三陽高等学校ヨット部 全国制覇！



去る8月4日～8日のあいだ、千葉稲毛ヨットハーバーにて開催された、平成17年度全国高等学校総合体育大会において、中村学園三陽高等学校ヨット部がデュエット1位、ソロ1位・7位の成績をおさめ、平成15年につづいて三度目の全国制覇を成し遂げた。準優勝を果たした去年、優勝カップを持ち帰った一昨年に比べ、今年のチームは、県大会2位、九州大会2位、夏休みに行われた国体予選は、一つも出場権利をとることなく終わるといった苦戦の連続で、挑戦者としてインターハイ会場である千葉に乗り込んだ。勝因を一つ挙げるならば、最後まで生徒たちが挑戦者意識を持ち続けたこと。どんなに有利なレース展開のなかでも決して笑みをこぼさず戦い続け、表彰台で最高の笑顔をみせてくれた。

10/5 中村学園教職員OB会総会

10月5日、中村学園教職員OB会(会長 楠喜久枝名誉教授)総会が市内のホテルで開催された。当日は52名の教職員OBが出席され、中村学園各学校の近況報告や、今年、白寿を迎えられた鼻地三郎先生(しいのみ学園園長)はじめ喜寿、米寿の方々へお祝いの花束と記念品が贈呈された。また、大学薬膳科学研究所の外国人客員研究員で上海中医薬大学の朱根勝講師による薬膳についての講演が行われた。引き続き開催された懇親会は、景品が当たる抽選会や全員での合唱など和やかな雰囲気、久しぶりに集う懐かしい顔ぶれが旧交を暖めた。

中村学園教職員OB会懇親会



白寿を迎えられた鼻地三郎先生

10/15 アジア栄養科学ワークショップ

10月15日、大学院栄養科学研究科及び大学栄養科学研究所主催の「第14回アジア栄養科学ワークショップ」が開催。今回は「味覚-“おいしさのしくみ”」をテーマとして、九州歯科大学 豊島邦昭教授をはじめ3人の講師による講演並びに総合討論が行われた。講演テーマと講師は次のとおり。

「うま味も苦味も味蕾から」

豊島 邦昭 教授(九州歯科大学 健康促進科学専攻 生命科学講座)

「味覚情報の伝達と処理」

花森 隆充 助教授(宮崎大学 医学部 機能制御学講座)

「おいしさを楽しむ脳のしくみ」

山本 隆 教授(大阪大学大学院 人間科学研究科)

サークル紹介 バレーボール部

私たちバレーボール部は、男子バレーボール部(部員17名)、大学女子バレーボール部(部員43名)、短大女子バレーボール部(部員27名)の3つのサークルが合同で活動しています。現在までの対外試合の実績は、女子は、九州大学バレーボールリーグ7部からスタートし、7部、6部、5部と全て優勝を果たして、上位の部に昇格しました。今年の10月には、4部で九州地区の強豪チームと対戦します。また、男子も今年の春、佐賀で開催されたリーグ戦の7部に初出場しました。上の部には昇格することはできませんでしたが、ここでの経験が部員同士のまとまりや、次の試合への意気込みにつながり、勝ち負け以上に様々なことを得ることができました。

試合以外にもバレーボール部では、毎年3月と9月のセミナーハウスでの合宿や、夏休みの旅行など部員同士の仲はとても良く、これからも男女ともそれぞれの目標に向かって頑張っていきます。

(男子バレーボール部 部長 人間発達学科3年 小川高樹)



7/22~12/25 免許法認定講習会

本学では、栄養教諭免許制度の発足に伴い、現職の学校栄養職員の方対象に、栄養教諭に関する免許法認定講習会を開催している。期間は本年7月から12月までで、全10教科を開講。1教科当たり2日間又は3日間に講義15回と試験を行い、出席状況と試験の成績により合格と判定された方に単位(1教科1単位)が授与される。福岡県内だけでなく、遠くは大分県、宮崎県からの受講者もおられ、10月までに延べ約500人の方が受講されている。

7/30・8/20 オープンキャンパス

受験生をはじめ保護者、高校教員等を対象としたオープンキャンパスが、7月30日と8月20日の2回にわたって開催され、計3,574人が参加した。当日は、個別の入試相談、キャンパスツアー、各学部・科ごとの模擬授業、入試問題の傾向と対策、小論文講座など盛り沢山のプログラムに、参加した受験生らも大変満足した様子だった。



9/10・10/1、15 公開講座

今年で32回目となった公開講座が9月10日、10月1、15日の3回にわたって開催された。本年度は、「生活の知恵を育もう」を統一テーマとし、「超高齢化と栄養」、「アート教育で子育てを考える」、「豊かな暮らしと流通」の3つのテーマで計6講座を開講。参加した受講者へのアンケート結果では「身近なテーマなのでとても興味深く聞くことができた」、「講義だけでなく実習も交えた内容だったのでとても分かりやすかった」など満足度の高い評価をいただいた。また、今年から公開講座開催日には無料の託児所を学内に設置し、小さなお子様連れの受講者に大変好評であった。



表彰のお知らせ

トーストマスターズ・インターナショナル DTM(Distinguished Toastmaster) 受章

平成17年8月、アメリカに本部を置く英語スピーチの国際団体Toastmasters International (TI)より最高位であるDTM(Distinguished Toastmaster)の称号を与えられ、Hall of Fame(殿堂)入りした。この称号は、永年にわたり英語スピーチ大会などで活躍し、TIの活動に多大な貢献をした者に対して与えられるものである。



福田 慎司 講師
(大学 栄養科学部)

研究助成・受託研究等採択状況

日本ミルクコミュニティ株式会社 カンキツ果汁やお茶に含まれる植物 イソプレノイドの骨粗鬆症予防効果の解明

植物イソプレノイドは植物が合成するイソプレン(C₅H₈)を構成単位とする化合物で、ヒトなどのメバロン酸経路を阻害してコレステロール合成を抑制し、腫瘍の増殖を抑制することが知られている。近年、メバロン酸経路を阻害する高コレステロール血症治療薬スタチンが、骨芽細胞の分化を促進して骨形成を促進することが報告された。したがって、植物イソプレノイドにも骨形成促進作用があると推測される。本研究では、カンキツ果汁やお茶に多く含まれる植物イソプレノイドについて骨形成促進作用を確認し、植物イソプレノイドの骨粗鬆症予防への有用性を明らかにする。

〈研究者〉
津田 博子 教授
(大学 栄養科学部)
交付金額/1,000,000円



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、()内は出版社、発行年月



「消費生活思想の展開」
宮地 晃輔 共著
短期大学部 家政経済科 助教授
(税務経理協会 平成17年10月)



「オーラル・コミュニケーション・ストラテジー研究」
中谷 安男 単著
短期大学部 家政経済科 助教授
(開文社出版 平成17年5月)



「日本臨床 増刊号 耐糖能障害」
城田 知子 共著
短期大学部 食物栄養科 教授
内田 和宏 共著
短期大学部 食物栄養科 助手
(株)日本臨床社 平成17年2月)

『地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム』のお知らせ

このたび、本年2月に開業した福岡市地下鉄七隈線沿線の中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の3大学が連携し、市民の健康づくりに貢献することを目的とした合同シンポジウムを開催することになりました。「食と健康」をメインテーマとして、各大学の教育研究の特色に基づいた講演のほか、参加者からの質問・相談にお答えするQ&Aの時間も多く設けています。開催内容は、下記のとおりです。ふるってご参加ください。

日時 平成17年11月26日(土) 13:00～15:20
(講演/13:00～14:00、Q&A/14:10～15:20)

場所 福岡歯科大学・講堂(福岡市早良区田村2-15-1)

メインテーマ **「食と健康」**

サブテーマ **「知っていますか歯周病の恐怖—せまりくる生活習慣病」**

講演テーマ **「歯周病と糖尿病」**

坂上 竜 資(福岡歯科大学 歯周病学分野 教授)

「糖尿病は万病のもと」

安西 慶三(福岡大学 血液・糖尿病科 講師)

「食事で糖尿病を予防し改善しよう」

今井 克己(中村学園大学 栄養科学部 助教授)

◎問い合わせ・申し込み先

福岡歯科大学 企画課 TEL.092-801-0411(内線509) FAX.092-801-3678
e-mail: kikaku@college.fdcnet.ac.jp

大学の収容定員 変更について (お知らせ)

平成18年4月から、大学の収容定員を次のとおり変更(増加)いたします。

(学則変更認可申請中)

○大学 人間発達学部
人間発達学科
児童発達学専攻

(入学定員)
50人 → 100人

(収容定員)
200人 → 400人

○大学全体の収容定員

2,260人 → 2,460人

教職員の動き

退職人事
(平成17年9月30日付)

・助手(大学 栄養科学部)

古賀 貴子

・常勤助手(大学 流通科学部)

福永 良浩

採用人事
(平成17年10月1日付)

・常勤助手(大学 栄養科学部)

小関 倫子



オープンキャンパス

広報誌セロリの定期購読について

個人で定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を書いた紙片を同封の上、学長事務室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。

申込み先

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学長事務室 「広報誌定期購読申込」係